

かわさき区の宝物シート

宝物No.	かわさきだいしおもてさんどう
10-10	川崎大師表参道

エリア	大師地区	シーズン	通年
	大師周辺	日時	

目的	<input type="checkbox"/> 観る	<input checked="" type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する
	<input type="checkbox"/> 食べる	<input type="checkbox"/> その他

宝物定義	<input type="checkbox"/> ものづくり	<input type="checkbox"/> イベント・祭り
	<input type="checkbox"/> 味づくり	<input checked="" type="checkbox"/> にぎわい
	<input type="checkbox"/> 現代の文化的なもの	<input type="checkbox"/> 港めぐり
	<input checked="" type="checkbox"/> 歴史的なもの	<input type="checkbox"/> 人物



所在地	川崎区大師駅前1丁目～大師本町・大師町
問い合わせ	川崎大師表参道商業協同組合
TEL	044-288-4437 (株住吉)
FAX	
E-mail	
URL	http://www.e-daishi.net/ (e-大師ネット)
交通	京急大師線川崎大師駅より徒歩5分



基礎情報

■京急川崎大師駅を出て、左手に見える厄除門をくぐり川崎大師へ続く古くからの参道。正月三ヶ日には300万人を超える参拝客でにぎわう。沿道には名物の久寿餅屋や飴屋、縁起物のだるま屋など、さまざまな店が軒を連ねている。

由来・エピソード

■昔、江戸から川崎大師までの距離は、五里（約19.6km）といわれ足の達者な参詣客は日帰りであられたが、普通の参詣客は無理であったことから、表参道には大きく立派な旅館や料理屋が威容を誇り、みやげ物屋などの商店はそれらの建物にはさまれるように並んでいたという。今も続く、「恵の本」といった大料亭では、はまぐりと野菜の味噌仕立ての大師一の名物「蛤鍋(はまなべ)」が人気を誇った。唯一「恵の本」では今でも貴重な江戸前（金沢八景産）の蛤鍋を提供している。

■仲見世通りも含め、現在の姿が形づくられたのは明治20年代のこと。明治32年(1899)六郷橋・大師間に大師電気鉄道が開通すると参詣客は増え門前町は大いに賑わったという。大戦時の空襲によって往時の町並みはほとんどが消えてしまったが、戦後に表参道商業協同組合ができて、表参道と仲見世通り全体の発展をはかる取り組みがはじめられ、今日の活気あふれる姿が取り戻された。

補足・その他

関連シート

- (10-12)馬頭観音
- (10-13)川崎大師仲見世通り
- (10-14)川崎大師久寿餅
- (10-15)せき止め飴・さらし飴
- (10-16)川崎大師のだるま
- (10-17)川崎大師平間寺